

# 第3回甲府市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 計画部会 議事録要旨

日時：令和6年8月26日（月）15時00分～

場所：甲府市役所 本庁舎4階本部長会議室

## 1. 開会

## 2. 部会長挨拶

## 3. 議事

### (1) 「(仮称) 甲府市こども計画」施策(案)について

#### 【事務局】

「(仮称) 甲府市こども計画」施策(案)について、事務局より説明。

#### 【委員】

- ワークショップについて、意見はどの程度、計画へ反映させる余地があるのか。参考程度の反映ではワークショップを実施する意義を感じられないため、柔軟に反映させてほしい。人口減少を食い止めるような意見があれば、多少予算がかさんでも計画に取り入れてほしい。
- 少子化対策については、明石市や流山市、奈義町、大森町など他市町村の先行事例があるため、他市町村を参考に新しい施策を実施してほしい。今までと違う5ヵ年計画という目玉施策を立て、市民が期待を持てるよう設定してもらいたい。

#### 【事務局】

- ワークショップの意見については、こども計画の範囲内については施策に反映させる想定である。こども計画の範囲外の意見については、フィードバック内に反映できない理由を示す想定である。
- 施策を実現するための事業に係る協議は、庁内での検討となる。そのため、計画部会では一段上の施策等について議論させてもらいたいと考えている。

#### 【委員】

- 他市町村の先行事例に関して検討などはしているか。

#### 【事務局】

- 計画策定を開始した当初から、情報収集を行っている。

#### 【委員】

- 目玉施策の実行には予算がかさむ想定である。子ども関連予算は甲府市の何パーセントで、何パーセントが投資効果として跳ね返ってくるかを定め計画に示すことが良いと考える。例えば、予算を10%増やした場合の投資効果として出生率がどの程度変化するといった点などを示すことが重要と考える。
- 計画の中で上記のような予算に係る記載はできないのか。

#### 【事務局】

- 予算関連について具体的に計画内に示すものではないと考えている。また、出生率の向上については、こども計画の範囲外の要因も大きく関わる。このため、本計画に当該予算に係る記載は難しい状況である。

#### 【委員】

- 甲府市子ども未来応援条例やKOFU NEXT ACTIONでは甲府市独自の施策が定められており、記載されている表現がわかりやすいと感じた。本計画の目標についてもKOFU NEXT ACTIONの表現を参考に、表現を見直し、甲府市独自の要素を入れていくことは可能か。

【事務局】

- 要素を含めることは可能である。

【委員】

- 甲府市子ども未来応援条例を参考にしながら、甲府市子ども計画を作成するのが良いのではないか。また、「こどもまんなか」という要素を入れてもらいたい。

【委員】

- 目次構成案について、計画の冒頭に「策定の背景・目的」ではなく、本計画の理念を入れることでインパクトが出るのではないか。
- 背景については、人口減少の危機感（人口、出生率）を訴求する内容を記載してほしい。
- 第2期甲府市子ども・子育て支援計画 p76 に区域別の人口推計があり、計画では令和5年度の出生数は1272人と記載があるが、現時点で令和5年度の数値は達成しているのか。

【事務局】

- 理念については、本計画が第5次健やかいきいき甲府プランに含まれる計画であることから、第5次健やかいきいき甲府プラン総論に定められている基本理念を使用する想定である。
- 区域別の人口推計に対する実績値はほぼ同数で計画通りである。

【委員】

- 理念という形でなくとも、計画をなぜつくったかといった点について、計画の方向や宣言の形で打ち出すのも一案である。

【会長】

- SDGs について、目次で一項目立てるのは一般的なのか。

【事務局】

- 昨年度策定した第5次健やかいきいき甲府プランでは、これまでにない要素として4計画すべてにSDGsの記載を取り入れたため、その説明として項目を立てている。

【委員】

- SDGsに加えて「ウェルビーイング」という用語もいれてほしい。
- 基本理念自体に文字としてウェルビーイングを入れるかも検討してほしい。

【会長】

- 他の委員会ではウェルビーイングという用語の意味が分からない人もいるのではないかという意見もあった。

【委員】

- 県の子ども計画のヒアリングがあったが、ウェルビーイングを計画に入れる方向という回答をもらっている。

【委員】

- 基本理念にスペースが入っていて冗長な印象である。

【事務局】

- 基本理念は第5次健やかいきいき甲府プラン全て共通のため、手を加えることはできない。

【委員】

- 放課後児童クラブでのワークショップでは何人が参加して、何人答えたか、状況を教えてもらいたい。

#### 【事務局】

- 意見の総数は各学校で150件程度である。総数は約500件ほどであった。
- 羽黒小学校47人、甲運小学校38人、国母小学校37人を対象に実施した。YMCAは30人に対してワークショップの実施を予定している。

#### 【会長】

- 良い意見は少数意見であっても反映してもらいたい。

#### 【委員】

- 基本理念から計画目標案まで、不十分な部分はない認識である。ただ、この計画を見て子どもの心が弾むかは不明である。
- 目玉施策の記載が無く、本計画を市民へ周知できるかは疑問である。
- 成功している他自治体の先行事例を甲府市に当てはめ、実行可否を検討するのも一案である。
- 見込量と確保量の結果が出ていたが、コストパフォーマンスを含めて、来年の実施可否を検討するのも一案である。

#### 【会長】

- 大学を卒業しても地元に戻らない学生もいるが、甲府市に戻って活躍するためのアイデアはあるか。

#### 【委員】

- 若い世代は都市に出る傾向にあり、新卒の確保が難しい現状である。加えて、企業内保育所において、時給を上げてでも保育士の確保は難しい想定である。

#### 【会長】

- 甲府市はお金をかけずに住める、子育てができるとPRするのも一案である。

#### 【委員】

- 移住者からの定住支援に関する相談が多い認識である。生活環境には満足しているが、早朝に東京へ行く際に頼れる場所や、残業しても子どもを預かってくれる、出張時には駅まで迎えに来てくれる等、移住者が頼れる支援をしてほしい。
- 地域に愛育会や児童委員、民生委員がいても相談する場所・方法などが明らかではないため、地区密着型の交流などを活発に行っていければよいと考えている。

#### 【事務局】

- 子育てガイドブックを作成しており、市外から引っ越してきた世帯に配っている。情報が行き渡っていないのであれば、広報の仕方に工夫が必要と認識している。

#### 【委員】

- 中学生向けワークショップについて、募集が夏休み期間中であり、中学生は自主的にワークショップのチラシを見ない可能性が高いため参加者を集めるのが難しい認識だが、現時点で何人集まっているか。
- 南アルプス市や韮崎市のように、ワークショップなど子ども中心の意見収集の仕組みを今後設けてほしい。このような取り組みに関わった子どもが、就職時や親世代となった際に甲府市に愛着を持つ想定である。

#### 【事務局】

- 高校生向けワークショップについては、8月26日（月）の週に夏休み明けの高校があるため、高校経由で8月28日（水）までに応募してもらう想定である。

- 中学生向けワークショップについては、現在9名の応募があった。中学校も8月26日の週に夏休み明けのため、社会活動に積極的な子ども達に学校経由で声掛けをしている。
- 加えて、ジュニアリーダーを統括している青少年育成甲府市民会議の支部にも声掛け中である。

#### 【会長】

- セーフティネットに関する要素だけでなく、子ども達が魅力を感じる要素があるとよい想定である。

#### 【委員】

- いずれの企業も人手不足のため効率化を求めており、山梨県の事業所を東京に集約するなどの動きもある。また、教員など学校関連も欠員が多い。「社会環境の整備」とは具体的に何をやっていくのか、甲府市としての考えはあるか。例えば福利厚生を充実することも念頭にあるが、どの企業も余裕がなく実現は難しいと考える。

#### 【事務局】

- 教育関連の事業については教育部所管の事業が該当する認識であり、教育大綱に記載のある事業が主になっている状況である。甲府市こども計画へは教育大綱に記載のある事業についても落とし込む想定である。
- 現状、環境整備についての事業内容は人材確保と給付金の2軸になっている。

#### 【委員】

- 計画目標1「安心できる出産・子育て」について、山梨県の会議に出席した際、就学前の児童への接し方が、子どもの一生を決めるという意見もあった。現在の骨子においても重視していると認識しているので、今後も引き続き注視したい。
- 計画目標3「子ども・若者への地域社会全体による支え合い」について、地域社会全体で支え合うことをどのように具体化するのか。働き方改善の観点から最近の幼稚園行事は平日開催が多く、出席のために仕事を休む必要がある。行政は休みが取りやすいが、中小企業は取りづらい現状にあり、地域社会全体で支えている実感がない。そのため「企業」という要素は重要である認識である。また、地域社会全体のみならず、子どもがいない人、子どもが成長した人、一時的に住んでいる人含めて、自分の子どもではない子育てへの関わり方が重要と認識している。
- 市議会で甲府きょういくの日（教育・共育・郷育）が制定され、関連事業も施行されているが、それらの事業と計画をリンクさせる観点が無ければ不十分である認識である。
- 子どもの将来像についても明確なビジョンを持つ必要がある。こんな市民になってほしい、こんな大人になってほしいなど市民像を記載するのも一案である。

#### 【事務局】

- 子どもが目指すべき人間像を行政が定めることは適切ではないと認識している。子どもが社会に関わっているという実感を得られるような環境を整える必要があると考える。

#### 【委員】

- 人間像については市長の思いとして盛り込むのも一案である。

#### 【委員】

- 計画に以下の内容を含めることを検討してほしい。
  - ✓ インクルーシブ保育・教育の推進。障がいのある子どもと障がいの無い子どもが境目無く教育を受けることが望ましいと認識している。
  - ✓ 外国籍の子どもに対応できる環境整備。

- ✓ 保・幼・小・中・高の学びの連続性。それぞれ縦割りではなく子どもの成長を軸としたこともまんなかのサポートを示してほしい。
- ✓ 教員や保育士の処遇改善。福利厚生の実施、返済不要の奨学金制度などを設けるのも一案である。例えば、やまなし子育て応援カード（18歳未満の子どもがいる家庭が特典を受けられるサービス）のようなサービスを教員・保育士も利用可能にする等、教育機関で働く人への応援を福利厚生の実施から伝えられると良い。
- ✓ 小・中学校、保育施設への職場体験の推進。教育機関での原体験が子どもの職業選択につながる認識である。
- ✓ 保育士免許がない市民同士でも子育て合いができる仕組みづくり。保育士だけでは人材不足となるため、市民同士の横のつながりを行政が支援することも一案である。

#### 【会長】

- 学びの連続性について、保・幼・小連携で市の事業として実施しているが、市教育委員会と連携してさらに充実させることが望ましい。
- キャリア教育として職場体験を実施している認識であるが、さらに充実した取り組みを展開してほしい。

#### 【委員】

- 保育士養成校に入学する学生は小規模保育や子育て支援に興味を持っていることが多い傾向にある。学生からそのような保育に注力している園を尋ねられても分からないことが多く、他市町村のNPOを紹介することがある。
- 保・幼・小以前に子育てに関わるのは子育て支援センターと認識しており、子育て支援センターも含めた連携により、切れ目のない子育てにつながると思う。
- 子育て支援センターの担当保育士は2～3年で変わるため、精通している保育士がどの園にいるかなどが分からない状況である。

#### 【会長】

- 大学で講座を開講し、そのような学生の質問に答えるなど企画するのも一案である。

#### 【委員】

- 養成校に入学する学生が少なくなっている。職業選択については中学校で考えるため、職場体験や出前授業などの場を設けてもらえればと思っている。

#### 【委員】

- 地域全体で子育てを実施する仕組みづくりが必要であると思うが、幼稚園や保育所で実施はできないのか。大学生のボランティアとして実施すると責任問題が生じる可能性があるため、行政ではなく園でやったほうが良いのではないかと考える。
- 市民同士でできる取り組みを含め、選択肢が多岐に渡るのも子育て支援に大事なことである。

#### 【事務局】

- 子どもの自宅預かりや送迎等、市民の相互援助活動はファミリーサポートセンターで実施しており、地域では愛育会が積極的に市民同士の取組を続けている。

#### 【委員】

- ファミリーサポートセンターについて、社会福祉審議会にて話題が挙がり、利用率の向上や周知も進んでいると認識している。祖父母のいない家庭からの需要が高く、協力会員と依頼会員のマッチングについて仕組みづくりを行うことも重要と認識している。

- 基本理念内の「まちづくり」は「こどもまんなかのまち」と理解しているが、子どもの幸せのためにまちづくりを行うのだという根本を大事にしてほしい。
- 地元への愛着を育むという観点から、計画内に「甲府愛」に関する要素をいれたほうが良い認識である。
- 地域社会全体による支え合いについて、施設が長時間保育を行う中で、保護者が子どもの成長に気づけず説明しないと伝わらない、といった現状があるため、親が家庭で過ごす時間を増やす必要があると認識している。地域社会活動の啓発を実施しなくてはいけないと考える。
- 計画の文言について、KOFU NEXT ACTION が直感的に理解しやすいので参考にしてほしい。
- 保育士がいなければ様々な事業ができなくなってしまうため、保育士確保について施設側と行政で取り組んでいきたいと考えている。

#### 【会長】

- 計画に甲府愛や甲府市といった単語を可能であれば入れてほしい。
- 計画目標 1 の基本施策内「共働きの推進」について、市が共働きを推進していると捉える人もいるため表現を再検討してほしい。

#### 【事務局】

- 今後再検討したい。

#### (2) その他

※特になし。

#### 4. 計画部会閉会